YNU Research Innovation Symposium 2019

YNU 研究イノベーション・シンポジウム 2019

ヘルスケアのために
大学と地域が連携する
―そして“MaaS”へ―

私達、横浜国立大学は過去 2 年間のシンポジウムで、Society5.0 という未来ビジョンを取り上げてきました。ICT、人工知能、ロボットを中核に、実世界とサイバー空間をつなぐ「CPS（Cyber Physical Systems）」が出現することで、人々に豊かさをもたらす超スマート社会が生まれてくるシナリオです。

昨年のシンポジウムでは、この Society5.0 を実現する分野として「ヘルスケア」、そのための仕組みとして「大学と地域の連携」に着目し、神奈川に Society5.0 を構築する方策を検討しました。そしてこれらに応え、実際に本学のキャンパスで、地域で生まれたヘルスケアの強みを社会実装するための研究が開始されました。同様に、本学の強みを地域の仕組みで実用化していく取り組みも展開されています。

それでは、こうした動きは、今後どのような形で神奈川に Society5.0 をもたらすのでしょうか。今回は、そのための駆動力となる「MaaS（Mobility as a Service）」という新たな流れを取り上げます。今、社会では、モビリティ（移動すること）が大きく形を変えようとしています。バス、タクシー、鉄道、航空などの複数の交通手段が CPS により統合・一体化されることで、様々な移動が一つにつながり、システムになり、新たなサービスが生まれてきます。「移動することがサービス化」された社会、MaaS が出現するのです。そして、この MaaS が創り出す新たな盤面で、産業がその姿を変えていきます。

では、ヘルスケアはどのような変貌を遂げていくのでしょうか。このことを、今回のシンポジウムで検討します。最初に「ヘルスケアのために大学と地域が連携」した実例を紹介し、次に「MaaS という新たな流れ」の内容を示します。その上で、神奈川での Society5.0 実現に向けて、これからの都市や社会において「MaaS が拓くヘルスケアの未来」について議論します。

2019年 11月26日(火)

13:00～17:00（12:00 開場）

会　場：はまぎんホール ヴィアマーレ
（横浜市西区みなとみらい3-1-1）

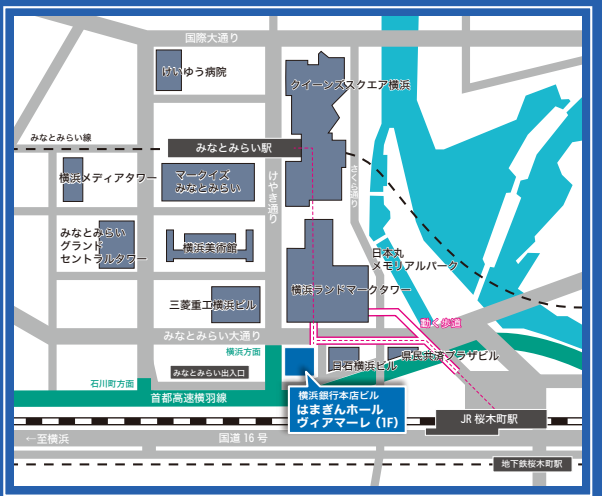
定　員：300 名（先着順）

参加費：無　料 ［情報交換会 2,000 円（当日徴収）］

［主　催］ YNU 国立大学法人 横浜国立大学

［後　援］ 神奈川県、横浜市経済局、川崎市、
地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所

会場アクセス



- JR・横浜市営地下鉄線　桜木町駅下車　動く歩道利用５分
- みなとみらい線　みなとみらい駅下車「クイーンズスクエア連絡口」「けやき通り口」より徒歩７分

＊駐車場のご用意がございませんので、ご来場の際は、公共の交通機関等をご利用くださるよう、お願い申し上げます。

http://www.ripo.ynu.ac.jp/yris/2019/

YNU研究イノベーション・シンポジウム 2019

ヘルスケアのために大学と地域が連携する
―そして“MaaS”へ―

【日 時】令和元年11月26日(火) 13:00−17:00　【会 場】はまぎんホール ヴィアマーレ

プログラム

13:00−13:10　**開会挨拶**

横浜国立大学　学長　長谷部 勇一

第一部　Society5.0 の「これまで」と「これから」

13:10−13:30　**地域連携構想**

横浜国立大学 研究推進機構 産学官連携推進部門 部門長・教授　金子 直哉

第二部　ヘルスケアのために大学と地域が連携する

13:30−14:00　**大型プロジェクト**
「毛髪の再生医療」

横浜国立大学 大学院工学研究院　教授　福田 淳二

14:00−14:30　**共同研究講座**
「神奈川から世界へ　Bhas42 細胞形質転換試験法の国際標準化とライフイノベーション」

共同研究講座教員 客員教授　大森 清美

14:30−15:00　**未来ビジョン**
「MaaS のヘルスケアへの展開のために」

横浜国立大学 副学長　大学院都市イノベーション研究院 教授　中村 文彦
YNU 持続可能なモビリティシステム研究拠点 拠点長

15:00−15:30　**イノベーションシステム**
「湘南アイパークにおけるイノベーション・エコシステムの形成」

武田薬品工業株式会社 湘南ヘルスイノベーションパーク
ジェネラルマネジャー　藤本 利夫

15:30−15:50　**休　憩**

第三部　“MaaS”が拓くヘルスケアの未来

15:50−16:50　**パネルディスカッション**

16:50−17:00　**閉会挨拶**

横浜国立大学 理事（研究・評価担当）・副学長　梅原 出

17:30−　**情報交換会**

講演者

福田 淳二

横浜国立大学 大学院工学研究院 教授
2003年九州大学工学府化学システム工学専攻修了。博士（工学）。
筑波大学数理物質科学研究科講師を経て、2013年より横浜国立大学大学院工学研究院准教授、2018年より現職。
2019年より KISTEC プロジェクトリーダー。
文部科学大臣表彰若手科学者賞、他受賞多数。

大森 清美

共同研究講座教員　客員教授
横浜市生まれ。1987年東京理科大学薬学部製薬学科卒業。
1988年神奈川県入庁と同時に衛生研究所に配属。1992 年から発がんプロモーション試験法の開発を開始し2006年東京理科大学で博士（薬学）の学位を取得。2017年より OECD の NGTxC・IATA のエキスパートメンバーとして活動中。

中村 文彦

横浜国立大学 副学長
大学院都市イノベーション研究院 教授
YNU 持続可能なモビリティシステム研究拠点 拠点長
1989年東京大学工学研究科都市工学専攻博士課程中退。工学博士。
東京大学工学部助手を経て、1995年横浜国立大学着任。
2015年より現職。
土木学会国際活動奨励賞、他受賞多数。

藤本 利夫

武田薬品工業株式会社
湘南ヘルスイノベーションパーク
ジェネラルマネジャー
1994年京都大学医学部卒業。医師、経営学修士。
京都大学胸部疾患研究所、ドイツルアーランドクリニック胸部外科医員、京都桂病院呼吸器センター副医長、ドイツフライブルグ大学胸部外科医員、アメリカメイヨークリニック一般胸部外科臨床フェロー、静岡市立病院呼吸器外科医長を経て、2006年より日本イーライリリー株式会社にて研究開発本部長執行役員、研究開発本部担当副社長を歴任。
2017年 12 月より現職。

［参 加 費］ 無料　［情報交換会 2,000 円（当日徴収）］
［定　　員］ 300 名（先着順。定員になり次第締め切らせていただきます。）
［申込方法］ ホームページよりお申し込みください。
URL：http://www.ripo.ynu.ac.jp/yris/2019/
［申込締切］ 令和元年 11 月 19 日（火）

［お問い合わせ］
国立大学法人 横浜国立大学
研究推進機構 産学官連携推進部門
〒240-8501 神奈川県横浜市保土ケ谷区常盤台 79-5
TEL：045-339-4447